

令和3年度 第2回 学術情報ネットワーク運営・連携本部会議 議事要旨

日 時： 令和3年3月7日 10:00-12:15

場 所： Web 会議システムにより開催

議 事：

1. 議事要旨確認

喜連川本部長から、資料2に基づき説明があり、内容に意見があれば会議終了までにご意見いただくこととして了承された。

2. 科学技術・イノベーション基本計画対応のための SINET の民間トライアル利用のための申合せ制定について

佐藤学術基盤課長より、資料3に基づき、SINET の民間利用トライアルを2年間の期限で開始し、その利用のための申し合わせを制定することについて説明があり、次の議論の後了承された。

- ・ トライアルというのはどの範囲までトライアルとされるか、民間も悩むのではないか。
 - まずは SINET を体験いただけるところを前面に押し出して進める方針。
- ・ 1 つずつのプロジェクトの期限は良いと思うが、この枠組み自体が2年間のみという期限では、利用する意思があっても時間が足りず諦めてしまう機関もでてしまうのではないか。
 - まずは2年という期限で始めて実績や経験を積み、それを踏まえて期限延長や新しい枠組みも含めてどうするか改めて検討と考えている。

3. 来年度以降に向けた実施体制について

合田委員より、資料4.1に基づき学術情報ネットワーク運営・連携本部の再編後の体制についての説明と、佐藤課長より資料4.2に基づき同本部規程の改定について説明があり了承された。

4. 次世代学術研究プラットフォームの概況と SINET6 移行に関する状況について

資料5に基づき、合田委員から本議題の概要についての説明と、漆谷委員より SINET6 移行の進捗状況について、及び山地委員より研究データ基盤の構築進捗についてそれぞれ説明があり、以下の議論があった。

- ・ 国際回線の図で、欧州向けの赤い点線は何を意味しているのか

- 欧州回線の将来的な需要増を見越して 100Gbps 回線を追加し 200Gbps とする計画があり、その追加分を示している

5. ネットワーク事業・作業部会報告

漆谷委員より、資料 6.1 及び 6.2 に基づき、第 2 回 NW 作業部会について SINET 民間活用に対する意見交換や加入機関由来の障害による SINET 網不具合の顛末、部会改組や SINET 6 移行進捗等の議事報告があった。

6. クラウド事業・作業部会報告

合田委員より、資料 7.1 に基づきクラウド導入・活用支援について、主要 3 サービスの実施状況やセミナー開催実績、学術計算機リソースへの展開状況の報告等があり、資料 7.2 に基づき第 18 回クラウド作業部会について、部会改組や利用者からの活用事例等の議事報告があった。また、資料 7.3 に基づき第 19 回の開催が予定されている旨の報告があった。

7. セキュリティ事業・作業部会報告

南委員より、資料 8.1、資料 8.2、資料 8.3 及び資料 8.4 に基づき、log4j による加入機関への影響状況や、NII-SOCS の監視範囲の見直しについて、及びセキュリティ連携運用サービス規程の改定や NII-SOCS の人員増などについての議事報告があった。

8. 情報セキュリティポリシー推進部会報告

中村委員より、資料 9 に基づき、サンプル規程集や情報セキュリティ教育教材の更新に関する議論について議事報告があり、及びそれらの進捗について報告があった。

9. 研究データ基盤運営委員会活動報告

山地委員より、資料 10 に基づき、次期システムへの移行に関する説明や GakuNin RDM の利用状況、データ基盤の解析環境との連携、CiNii Research への統合、学認 LMS の運用状況、来年度の活動方針の説明や各作業部会活動の報告があった。

- 公開基盤の利用は機関毎との認識だが、複数の機関のデータを何らかの形で連携する利用が可能になるのか。
 - JHPCS には専用の JAIRO Cloud を用意いただいでいて、複数のリポジトリのメタデータを統合して検索できる機能を提供している。ただし、特に分野ごとでメタデータ統合の取り組みが違うため、どのように異分野の統合をデザインしていくかは今後も皆様にご相談のついでいただきながら検討を進めたい

10. 学術認証事業・学術認証運営委員会報告

坂根学術認証推進室長より、資料 11.1 に基づき学認の活動報告としてセミナーの開催状況、加入機関数やアクセス統計、UPKI 証明書発行状況、eduroam JP や各作業部会の活動報告、特に次世代認証連検討作業部会による開発状況について報告があった。また、資料 11.2 及び資料 11.3 に基づき学術認証運営委員会の議事報告があった。

11. 2021 年度学術情報基盤オープンフォーラム活動報告

佐藤学術基盤課長より、資料 12 に基づき今年度オープンフォーラムが開催したイベントやその他活動に関する報告があった。

12. その他

田浦委員より、mdx は学認に参加している機関であれば参加自由としているが、大学側の IdP で認証を許可してもらわなければならない、実情として許可設定している大学が少ないため許可設定を促す広報をしたいが、そのより効果的な方法がないか意見伺いがあった。それについて、参加機関の 1 つである NII としての立場において、オープンフォーラムやサービス説明会の開催機会にアナウンスをする等の手段は検討できるのではないかと NII 関係者から提案があった。

次回開催日は、後日事務局から開催候補日について案内する旨連絡があった。

以上